

9 成田国際空港騒音対策

成田国際空港を離着陸する航空機騒音について、市では滑走路に最も近い関地区から「最も騒音影響の大きい時期の測定」の実施の要望を受け、成田国際空港株式会社に騒音測定を要望をしているが、令和4年度は実施していない。

令和元年7月18日より標準飛行コースが変更になり、令和元年10月27日からA滑走路の運用時間が0時まで延長されたが、近年のコロナ禍による大幅な減便となっている。航空機は風に向かって飛ぶため、空港北側においては、北向きの風の日には離陸機が、南向きの風の日には着陸機が多くなる。また、航空機の騒音は離陸機のほうが騒音の影響が大きいとされている。香取市は、航空機騒音に係る環境基準の指定地域ではなく、昨年までの測定値も環境基準を下回っている。

今後もコロナ禍からの回復による増便による影響の増加が懸念されることから、市内航空機騒音分布状況の把握、測定地点の選定方法等も考慮しながら監視していく必要があり、成田国際空港株式会社への要望を継続していく。

図9-1 標準飛行コース図

